



● 芸術祭キュレーターと色風景対談

国際芸術祭「あいち 2022」は、STILL ALIVE をコンセプトに、国内外からアーティストが集い、まちなか会場の一宮市、常滑市、有松地区でも展開されます。

芸術祭の見所やまちなか会場の特色を、飯田氏に解説いただくとともに、「日本の美しい色風景」プロジェクトと関連させた対談をオンラインで開催します。全国からのご参加を、お待ちしております。

◆表題：国際芸術祭「あいち 2022」から学ぶアートとまちの魅力 -生きていくまちを活かすアート、活かされるアート-

◆講師：飯田志保子氏(チーフ・キュレーター)
ナビゲーター：三木学(文筆家/編集者)

◆日時：9月13日(火)19時~20時半

◆申込受付中：〆切は9月10日(土)

<https://forms.gle/9b3vdu5ASWsxyp4K9>

◆受講料：

色彩学会員 2,000円・非会員 3,500円

◆詳細：https://color-science.jp/society/20220913_event/

国際芸術祭：<https://aichitriennale.jp/>

◆主催：くらしの色彩研究会・
美しい日本の色彩環境を創る研究会

(祖父江由美子)

● 合同研究発表会発表募集締切の延期

令和4年度秋の研究会大会の色彩文化系3研究会 合同研究発表会の発表募集が8月31日(水)まで延期されました。

色彩教材研究会の皆様にご発表を強くお勧めします。楽しんで発表してください。

一般社団法人日本色彩学会の色彩文化系3研究会(色彩教材研究会、くらしの色彩研究会、美しい日本の色彩環境を創る研究会)は、令和4年度の秋の研究会大会において合同研究発表会を開催します。日本色彩学会の学会員と、研究会に所属している者(研究会準会員)と、学生が発表可能です。

募集要項、発表申込書等の書類は、
<https://www.color-science.jp/kentai2022/> からダウンロードしてください。

◆開催日：2022年11月26日(土)

◆会場：オンライン開催(ZOOM)

◆発表申込スケジュール：

発表申込の締切：8月31日(水)に延期。

閲読コメントの返送：2022年9月12日(月)
アブストラクト・カメラレディ原稿の締切。

2022年10月17日(月)

◆原稿の締切は変更が無く、締切厳守ですのでご注意ください。

(学会メールニュース No.336 より引用・永田泰弘)

● 金色夜叉の色名 -2

女性の着物・装身具・持ち物の基本的な色名をまとめて順序を整理した一覧表を示すと白、真珠、素鼠、小豆鼠、鳩羽鼠、貴族鼠、黒、紅、紅絹、赤、淡紅色、桃色、小豆、濃小豆、葡萄茶、茶、肉色、橙色、金茶、金、黄金、消金、焼金、黄バク染、海松、勝色、鐵色、濃浅黄地、納戸、紺、紫紺、薄色、淡紫、紫、紫根の35種となる。

男性の着物・装身具・持ち物の基本的な色名をまとめて順序を整理した一覧表を示すと白、鼠、鼠色、瓦色、黒、小豆、茶、焦茶、金、黄金、純金、緑色、浅黄、濃納戸、藍、藍鼠、紺の17種となる。

人物の肌の色や髪や鬚や化粧などの基本的な色名をまとめて順序を整理した一覧表を示すと、白、真白、稍白、淡白、蒼白、灰、灰色、涅め、黒、烏羽玉、紅、鮮紅、薄紅、微紅、花櫻の色、赤、朱、赭、茶褐色、黄、蒼、真蒼、青、紫色の24種となる。

自然を描写している場合の基本的な色名をまとめて順序を整理した一覧表を示すと、白、真白、乳白色、薄白、微白、淡白、銀、灰色、死灰の色、墨、黒、紅、赤、朱、茶、金色、黄金、黄、緑、翠、蒼、瑠璃色、青、藍、紫。26種となる。(続く) (永田泰弘)